おっぱい通信

―赤ちゃんにやさしい病院を目指して―

2019年
Vol. 32

岩手県立磐井病院
母乳育児推進委員会
委員長　天沼　史孝

磐井病院がBFHに認定されました！
(Baby Friendl Hospital：赤ちゃんにやさしい病院)

5/18･19に日本母乳の会による院内施設・聞き取りの訪問審査を受け、当院の認定推薦が決定しました。岩手県内では黒川産婦人科医院(盛岡)に次いで、2つ目の認定施設になります。8/3･4に札幌で開催される第28回母乳育児シンポジウムにおいて、認定証の授与を受けてきます。

今後も指摘事項の改善、3年後の更新に向けて継続した院内活動、そして岩手県内の母乳育児の普及・推進活動を行っていく必要があります。引き続き、各部署の皆様のご協力をよろしくお願いします。

認定証に刻まれる
ピカソ「母子像」

育児サークルでの出来事

薬剤師:「服薬によって授乳をやめたことはありますか？」
お母さん:「インフルエンザにかかり、薬局で授乳をやめるように言われました。具合の悪い中、搾乳して捨てに行くのが大変でした。でも、離れていたので子供にはうつらなくて、良かったです。」

え～!!残念!

Vol.28のおっぱい通信でも取り上げましたが、抗インフルエンザ薬は授乳中に服用しても問題ないとされています。また、母乳には免疫がたくさん含まれているため、赤ちゃんは感染しにくいと言われています。

現在、厚生労働省では、添付文書の授乳に関する文言について、単に乳汁移行が認められたという理由だけで「授乳をさけること」との記載をしないよう改訂を行っています。

＜育児サークル「のびのび広場」＞
開催日時：毎月第3水曜日、10時30分～11時30分
対象者：一関市内のお母さんと1歳未満の赤ちゃん

今後の予定について

・8月3日（土）、4日（日）
　第28回母乳育児シンポジウムin札幌

・11月頃　BFH認定記念講演会

院内の妊婦の皆様、当院での妊婦健診を受けられている方もいない方も、是非おっぱいについて話しましょう！
わからないこと、聞きたいことがありましたら是非ご相談を！

母乳育児推進委員会
内線 3051（3西　今野）

今回は薬剤科よりお届けしました。